

Economic Indicators

定例経済指標レポート

指標名：第3次産業活動指数(2005年12月)

発表日：2006年2月23日(木)

～製造業と非製造業のバランスの取れた景気回復～

(No. J-235)

第一生命経済研究所 経済調査部

担当 エコノミスト 徳永香奈

TEL: 03-5221-4549

(単位:%)

		第3次産業活動指数												
		前期比		前年比		電気・ガス・熱供給・水道業	情報通信業	運輸業	卸・小売業	金融・保険業	不動産業	飲食店・宿泊業	医療、福祉	サービス業
年	月	前期比	前年比	前期比	前期比	前期比	前期比	前期比	前期比	前期比	前期比	前期比	前期比	前期比
04	1-3月	0.0	2.4	1.8	▲3.0	▲0.5	▲0.1	1.0	▲0.2	▲0.6	1.0	▲0.2	▲0.2	
	4-6月	1.6	2.5	1.6	3.3	0.7	0.5	2.4	1.6	0.5	0.7	3.0	0.8	
	7-9月	▲0.2	2.5	0.2	▲3.4	0.5	0.1	▲1.9	0.1	▲0.8	0.9	0.8	1.5	
	10-12月	0.6	2.0	▲2.4	3.7	▲0.1	▲0.1	0.6	0.6	▲0.1	0.2	1.5	0.2	
05	1-3月	1.4	2.2	4.2	▲2.1	0.2	1.6	1.8	▲0.3	3.0	1.0	2.3	0.1	
	4-6月	0.0	1.8	▲0.9	1.3	1.3	0.0	▲1.0	1.1	▲0.7	▲0.5	▲0.1	0.7	
	7-9月	0.2	2.2	▲0.8	▲0.8	0.0	▲0.6	3.3	0.6	▲0.8	0.3	0.7	0.2	
	10-12月	1.2	0.7	3.1	4.0	▲0.4	1.1	3.2	1.2	2.1	0.3	▲0.2	0.2	
04	1月	2.0	2.5	2.5	▲4.1	0.8	3.4	3.0	0.2	▲2.5	2.2	2.5	0.2	
	2月	▲3.1	2.7	▲1.9	▲0.6	▲3.0	▲3.6	▲3.3	▲2.8	0.2	▲3.6	▲4.0	0.6	
	3月	1.6	2.1	1.5	0.2	2.6	▲0.6	4.6	3.1	1.0	▲4.2	0.6	4.4	
	4月	2.0	3.4	▲0.1	2.1	0.2	3.2	1.7	0.4	▲0.2	▲0.6	▲0.7	0.1	
	5月	▲1.0	1.0	1.6	▲1.0	▲0.5	▲2.0	▲1.4	0.2	0.5	0.1	▲0.7	0.1	
	6月	0.6	3.0	0.8	5.7	0.6	1.1	▲0.8	0.3	▲0.9	▲0.6	0.1	0.4	
	7月	▲0.3	3.4	0.1	▲9.3	1.3	0.9	▲1.7	▲0.2	1.2	0.6	0.2	0.2	
	8月	0.2	2.6	▲2.0	4.9	▲1.6	▲1.0	1.1	0.1	▲3.1	1.0	0.2	1.6	
	9月	0.0	1.6	1.3	▲0.4	0.2	▲0.5	▲0.1	▲0.1	1.8	▲0.3	1.6	1.1	
	10月	0.3	0.5	▲1.4	2.4	0.4	1.2	0.1	▲0.2	▲0.7	▲0.4	▲1.1	1.9	
	11月	0.3	3.0	▲1.6	▲1.4	0.3	▲0.7	0.8	1.0	▲2.1	0.9	1.9	0.7	
	12月	0.1	2.4	▲0.6	2.4	▲0.8	0.0	▲1.0	0.3	5.7	▲0.4	0.7	1.9	
05	1月	2.4	3.1	3.6	▲3.1	0.6	4.6	2.9	▲0.3	0.1	1.9	1.9	0.7	
	2月	▲1.2	1.5	2.3	1.1	▲1.1	▲2.7	▲1.0	▲0.3	▲0.8	▲2.0	▲0.7	0.7	
	3月	▲0.9	2.0	▲0.2	▲2.6	2.3	▲2.9	▲0.2	▲1.2	1.3	1.5	▲0.7	1.2	
	4月	1.7	1.7	▲0.6	1.8	0.5	4.3	▲0.2	1.4	▲0.7	▲0.5	1.2	1.8	
	5月	▲1.5	1.8	▲2.8	▲1.3	▲1.4	▲2.2	▲0.6	1.0	▲0.7	▲0.3	▲1.8	2.0	
	6月	0.9	1.9	2.7	5.5	1.9	0.8	0.1	▲0.2	▲0.4	▲0.5	0.4	0.4	
	7月	▲0.7	1.2	▲5.3	▲4.7	▲0.8	▲0.6	0.3	▲0.5	▲0.6	0.3	0.9	0.7	
	8月	1.6	3.2	5.7	1.7	0.5	1.7	3.6	1.8	▲0.5	1.1	0.9	0.5	
	9月	▲0.8	2.1	0.6	▲0.7	▲0.6	▲2.6	2.4	▲0.9	1.5	▲1.2	0.7	0.4	
	10月	1.3	3.1	▲0.5	6.0	▲0.4	1.7	▲1.1	1.1	▲0.3	0.0	0.7	0.4	
	11月	▲0.2	2.6	▲1.2	▲4.0	0.5	0.8	1.8	▲0.3	▲0.1	0.5	▲0.4	1.4	
	12月	0.2	2.5	6.3	2.0	▲0.5	0.3	1.2	0.9	4.7	1.3	1.4	0.7	

(出所) 経済産業省「第3次産業活動指数」

○ 第3次産業活動指数は前月比+0.2%と高水準で安定推移

12月の第3次産業活動指数は前月比+0.2%とほぼ市場予想通り(コンセンサス+0.3%、レンジ▲0.5%～+2.0%)の結果となった。内訳をみると、電気・ガス・熱供給・水道業(同+6.3%)、飲食店、宿泊業(同+4.7%)、金融・保険業(同+1.2%)等が上昇に寄与する一方、複合サービス業(同▲13.0%)等が低下に寄与した。電気・ガス・熱供給・水道業(寄与度+0.28ポイント)については、厳冬による気温の低下から、電力・ガスの使用量が大きく伸びたことによって押し上げられている。また、金融・保険業(同+0.12ポイント)については、前月に引き続き株式市場の活況を背景に手数料収入が伸びたことが影響している。複合サービス事業(同▲0.22)については、季節調整における技術的な要因が影響しているとみられる。

10-12月期でも前期比+1.2%と非常に高い伸びであり、第3次産業活動指数が堅調に推移していることが示された。先行きについても、雇用・所得環境の改善や消費マインドの安定推移を背景にして個人消費の底堅さが持続するとみられることから、堅調な推移が続く可能性が高い。

○ 全産業活動指数も前月比+0.4%と揃って上昇

同時に公表された12月の全産業活動指数も前月比+0.4%と揃って上昇した。内訳をみると、第3次産業活動指数(寄与度+0.12ポイント)や鉱工業生産指数(同+0.25ポイント)が押し上げに寄与した。建設業

活動指数（寄与度▲0.02ポイント）については、前月に4ヶ月ぶりにプラスに転化した、再びマイナスとなった。これは大雪により土木活動が停滞したことが影響していると思われる。

○ 10-12月期の景気の底堅さを確認

10-12月平均の全産業活動指数は前期比+1.1%と4期連続のプラスとなり、10-12月期の実質GDP（前期比+1.4%）で見られた景気の底堅さを確認できる結果となった。2005年暦年でみると、全産業活動指数は前年比+1.9%、第3次産業活動指数は同+2.2%、鉱工業生産指数は同+1.3%、建設業活動指数は同+0.6%と6年振りのプラス転化、公務活動指数は同+1.2%と全ての項目でプラスとなった。全ての項目でプラスとなるのは99年以來のことである。日本経済は、製造業・非製造業のバランスの取れた理想的な回復局面に入っているといえよう。

